

## 演題「教職を知る～中学校生活～」

7月4日、教育創造コースの2年生は、香川大学教育学部の  
**山本木ノ実先生**の講義「教職を知る～中学校生活～」を受講しました。

中学校へは、支援活動として何度も足を運び、中学生の学びを深める活動に取り組んできました。しかし、生徒がいないところで学校の先生がどのような準備をして、日々の学校活動を切り盛りしているのかについては、あまり知る機会がありませんでした。

今回の講義の**前半**は、そのような先生の仕事の裏側について、小学校と中学校の先生の違いなども含めて具体的に学ぶことができました。



### 【感想】

- 中学生の頃、たくさんの先生が私に関わってくれたからこそ、この大好きな坂出高校に通えていることを実感しています。
- 私も中学校教員になったら、1人1人の生徒と真剣に向き合うことを一番大切にしたいと、より強く思うようになりました。

**後半**は、学校の先生が常に念頭に置いている「生徒の主体性を育てる関わり」について、ロールプレイをしながら考えました。中学校の先生になったつもりで生徒役の人と会話し、質問をしながら生徒の主体性を導いていく練習をしました。



### 【感想】

- 学ぶ楽しさを教えることが教師の役目であると思った。
- 私は先生役を演じました。難しかったけれど、中学校の先生は悩んでいる生徒の相談をいつも聞いて解決へ導いているのだとわかり、尊敬の気持ちになりました。
- 教師になったとき、よい問いかけができるよう、今から日々実践していきたい。